



ともに、生きる。  
**江戸川区**

# ごみの減量とリサイクルの更なる推進 - プラスチック製品の再資源化の取組 -



## 1 ごみ・リサイクルの現状

- 特別区のごみ量の推移
- 葛西地区ごみ公害問題
- 現在のごみ処理体制
- 江戸川区民一人 1 日あたり収集ごみ量

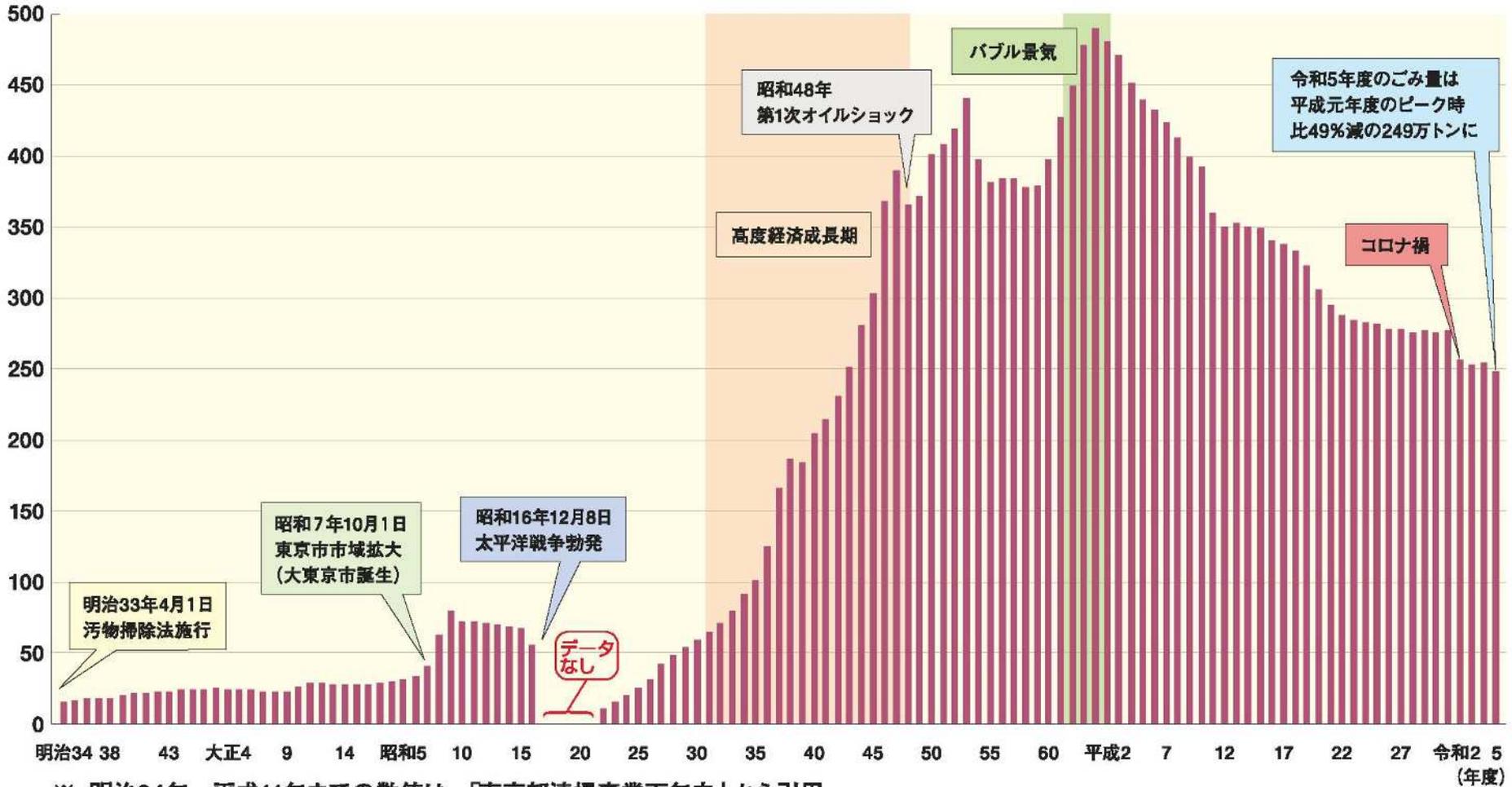
## 2 ごみ減量・リサイクルの更なる推進

- 区施設・イベントで出るごみの全量リサイクル
- 製品プラスチックの回収

## 3 リチウムイオン電池について

# 特別区のごみ量の推移

単位：万トン



※ 明治34年～平成11年までの数値は、「東京都清掃事業百年史」から引用

※ 明治34年～昭和6年は、東京市 (中心部15区) の区域内のごみ量、7年以降現在の23区とほぼ同じ区域となる。

出典：東京二十三区清掃一部事務組合HP

## 葛西地区ごみ公害問題

高度経済成長期の昭和30年代から、建設ラッシュに伴う残土や産業廃棄物、家庭ごみが不法に投棄されるようになった。焼却による悪臭、有毒ガス、ネズミやハエの発生により住環境は悪化。1日に1,000台以上のトラックが入り込むようになった。

最終的には、区と区民、警察が協力して道路封鎖・検問設置などの取組を行い、公害問題の解決に至った。昭和45年には特別区で初の『環境部』を設置した。



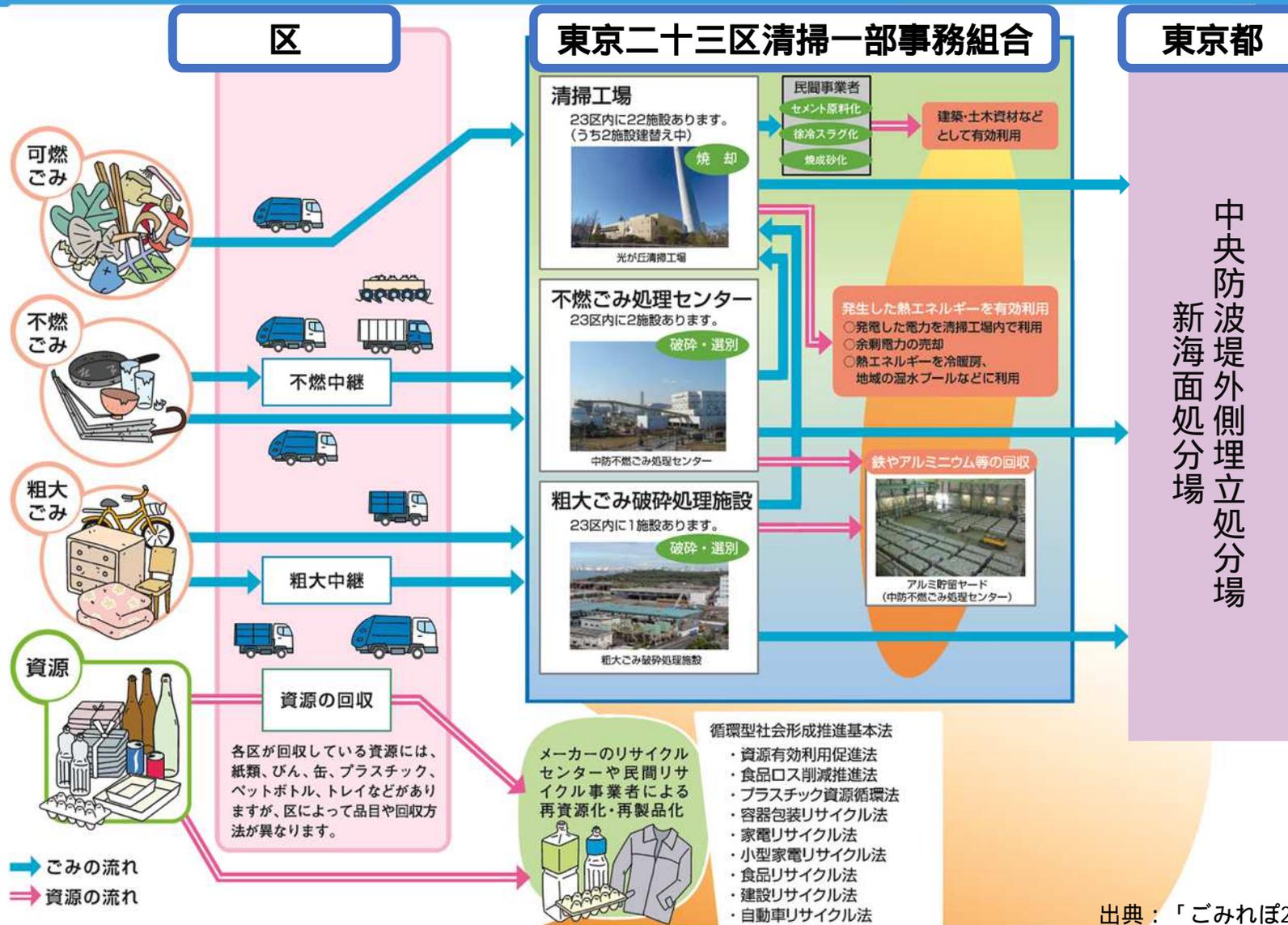
葛西地区ごみ公害問題 不法投棄（昭和45（1970）年）



道路封鎖（昭和45年）

出典：「葛西沖の歴史」より一部抜粋・改変

# 現在のごみ処理体制

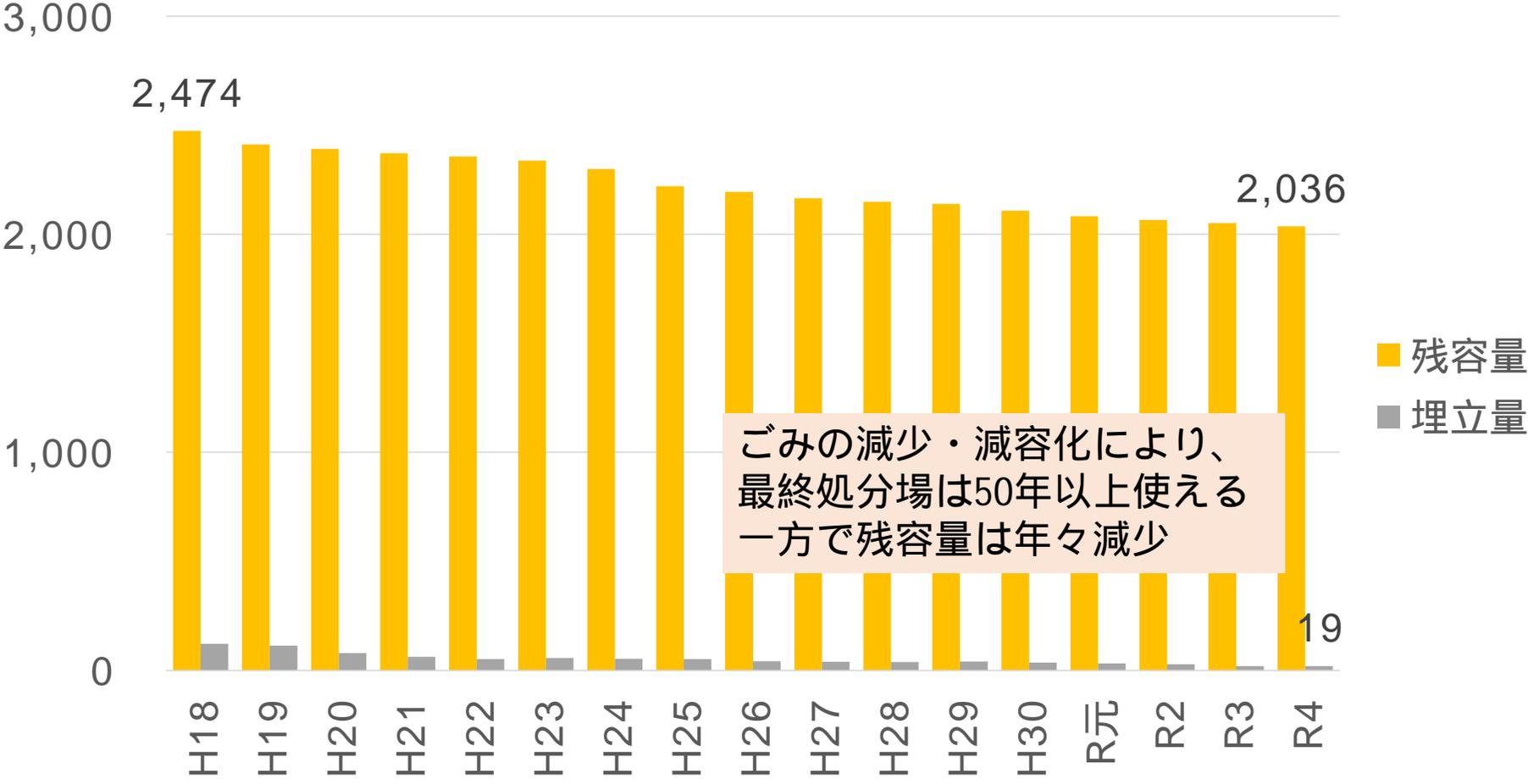


出典：「ごみれば2025」より抜粋・改変

# 最終処分場はあとどれくらい使える？

万トン

## 最終処分場の残容量と埋立量の推移



ごみの減少・減容化により、  
最終処分場は50年以上使える  
一方で残容量は年々減少

出典：環境省 一般廃棄物処理実態調査結果から作成

## 3つのRで循環型社会を築きましょう

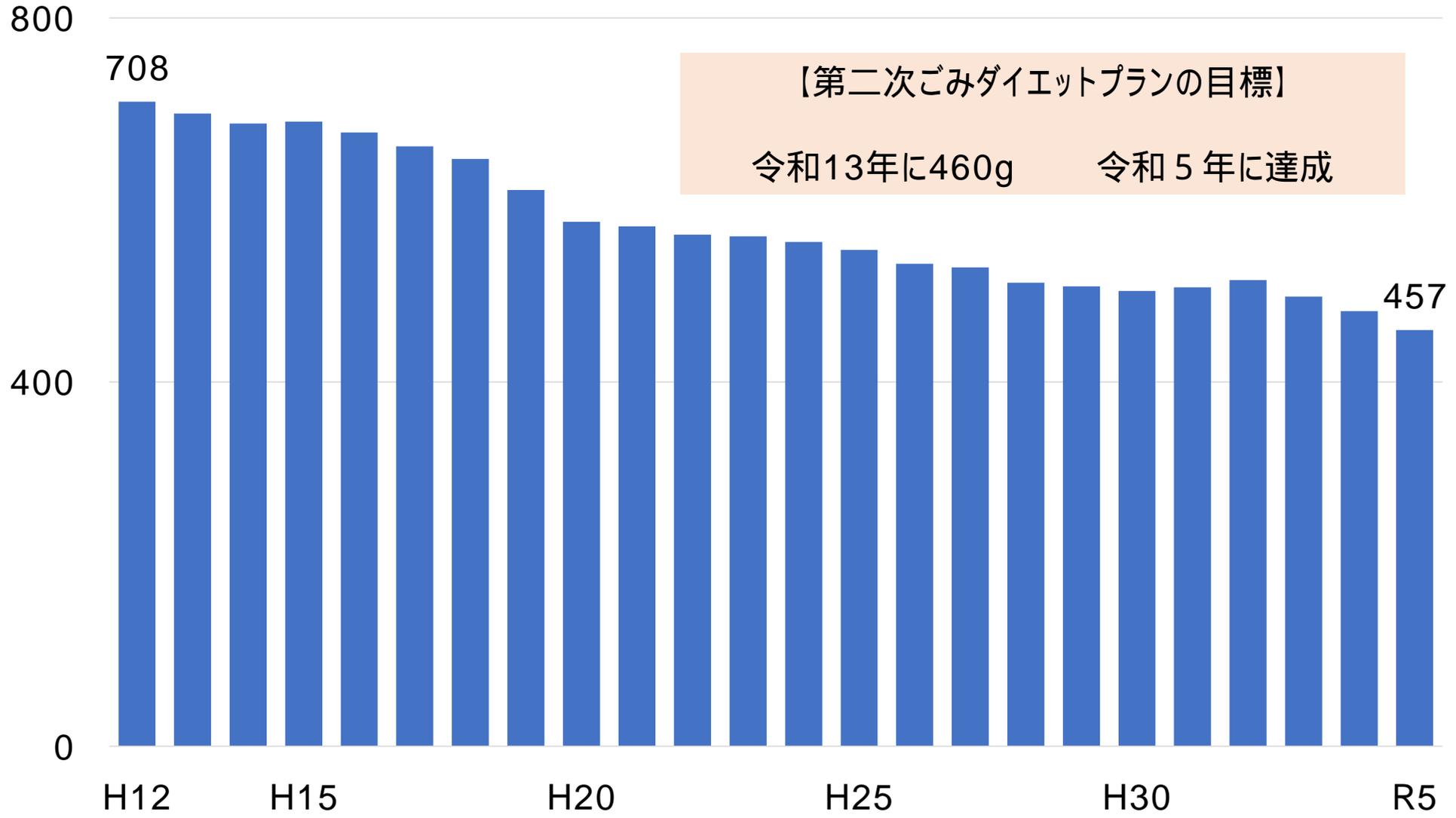
はじめの  
**R** **リデュース**しましょう 

2番目の  
**R** **リユース**しましょう 

最後の  
**R** **リサイクル**しましょう 

『しっかり減らして、リサイクル』

# 区民一人 1 日あたりのごみ量の推移



# 区施設・イベントで出るごみの全量リサイクル（令和6年度開始）

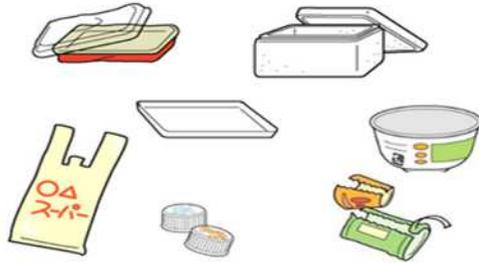
区施設・イベントで発生するごみの100%リサイクルを目指し、区役所本庁舎と区が実施するイベントでのリサイクルに取り組んでいます。また、リユース食器の使用にも取り組んでいます。

## 食べ残し・はし



バイオマス発電  
有機肥料

## プラスチック



ケミカルリサイクル  
(分解してガスや新しい素材へ)

## 紙類



再生トイレット  
ペーパー

ペットボトル

段ボール

空き缶

空きビン

それぞれ  
原材料として  
リサイクル



## ご協力をお願いした 19のイベントとCO<sub>2</sub>削減量

時期	イベント・まつり
4月	下小岩縁日まつり
5月	清新町・臨海町ふれあいまつり
5月	小岩中部地域まつり
5月	南江戸川ふるさとまつり
5月	鹿骨区民館まつり
5月	中央地域まつり
5月	新田地域ふれあいフェスティバル
5月	西小岩まつり
7月	古川まつり
8月	青年カーニバル

時期	イベント・まつり
9月	南小岩まつり（中止）
10月	葛西まつり
10月	小松川平井ふるさとまつり
10月	中央・一之江ふるさとまつり
11月	船堀まつり
11月	北小岩まつり
11月	東部地域祭
3月	新川千本桜まつり
4月	小松川千本桜まつり



R6年度は約31トンのごみを100%リサイクル  
39.8tのCO<sub>2</sub>を削減

# 製品プラスチックの回収について

# 製品プラスチックとは

## 燃やすごみとして収集されている マークのないプラスチック製品 (資源として回収されている容器包装プラスチック・ペットボトル以外のプラスチック。)

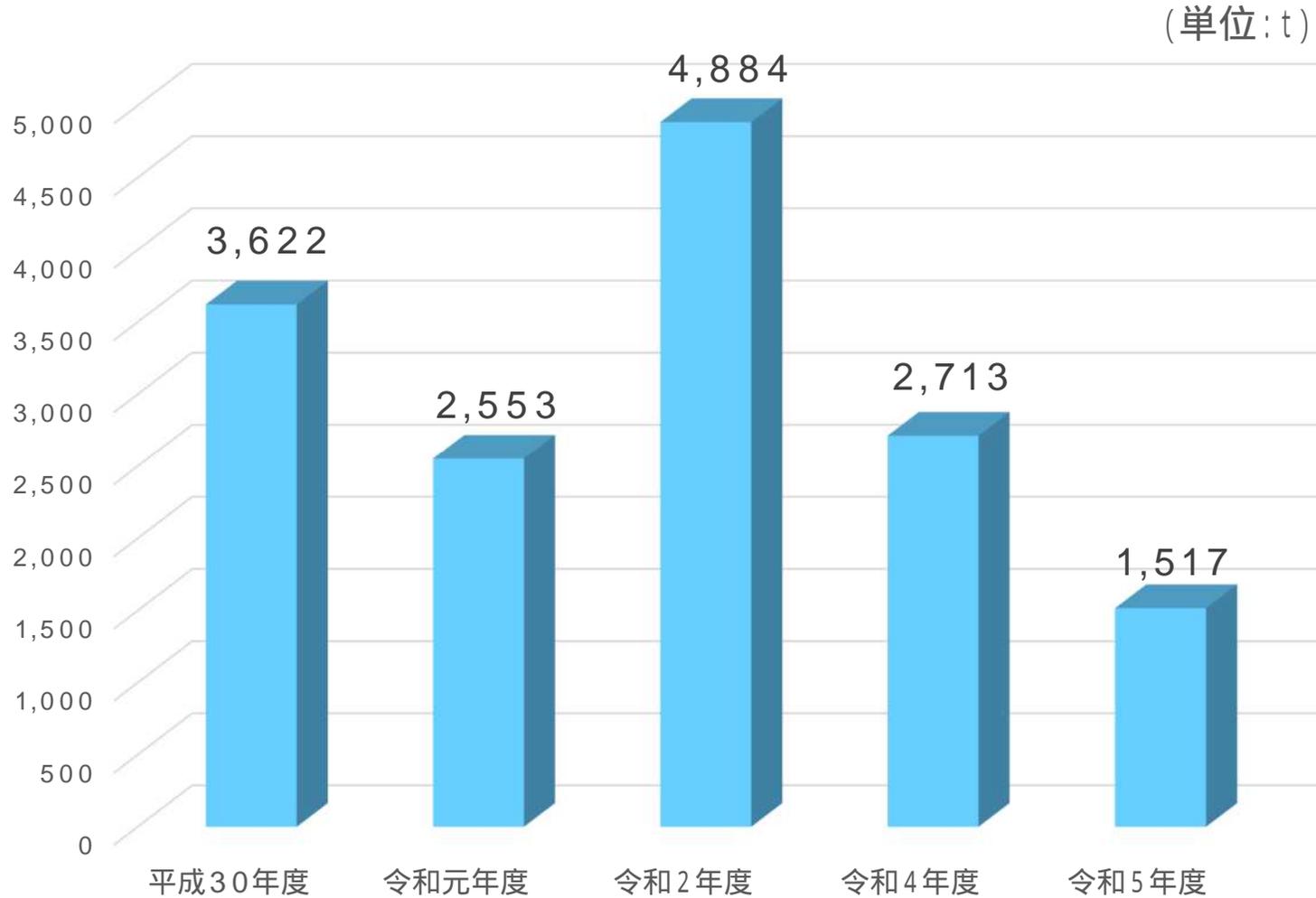
燃やすごみ

週2回収集

曜日

分け方		出し方					
<p>生ごみ</p>  <p>水切りをする</p>	<p>卵の殻・貝殻</p> 	<p>紙くず</p> 	<p>紙おむつ</p>  <p>汚物を取り除く</p>	<p>衣類</p> 	<p>食用油</p>  <p>紙や布にしみ込ませるか固めて出してください</p>	<p>木の枝・草花</p>  <p>長さ30cm程度に切って束ねてください</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ごみ容器または中身の見える透明・半透明の袋にまとめて入れて出してください。</li> <li>◆生ごみは、よく水を切ってから出してください。</li> <li>◆袋で出す場合、カラスなどによるごみの散乱防止のため、生ごみは外側から見えないよう紙などで包んで出してください。</li> <li>◆焼き鳥の串などの鋭利なものは、紙などで包んで突き出ないようにして出してください。</li> <li>◆食用油は、紙や布などにしみ込ませて、飛び散らないようにして出してください。</li> <li>◆紙おむつは、汚物を取り除いて出してください。</li> <li>◆衣類などの古着・古布は、なるべくリサイクル回収に出すようお願いします。</li> </ul>
<p style="color: red; font-weight: bold;">燃やすごみとなるプラスチック</p> <p>プラマークがついているものでも、汚れているもの、銀色の部分があるもの</p> 						<p style="color: red; font-weight: bold;">ゴム・皮革製品</p> 	
<p style="color: green; font-weight: bold;">プラマークのないプラスチック製品 (おもちゃ・日用品など)</p> <div style="border: 2px solid green; padding: 5px; display: inline-block;">  </div>							

# 【参考】「燃やすごみ」にて排出された製品プラ量推移（推計値）



# プラスチックを取り巻く情勢（国の取り組み）

## 1 プラスチック資源循環戦略の策定（令和元年5月）

(1) 主な目標設定

2030年までにワンウェイプラスチックを累積25%排出抑制

2030年までに容器包装の6割をリユース・リサイクル

2035年までに使用済みプラスチックを100%リユース・リサイクル等により、有効利用

(2) 同戦略の具体化に向けた一歩として「レジ袋有料化」を開始（令和元年7月）

## 2 「プラスチックにかかる資源循環の促進等に関する法律」（以下、プラ新法という。）の施行（令和4年4月）

事業者、消費者、国、都道府県及び市区町村それぞれの責務が明示され、自治体においては、さらなるプラスチック使用製品の分別収集が努力義務化された。

国	必要な財源の確保 情報の収集・整理・研究 広報、普及啓発	事業者	製品プラスチックの設計 製品プラスチック廃棄物の排出抑制 製品の自主回収、再資源化 等
都道府県	市区町村への助言 国に準じた措置の実施	消費者	製品プラスチックの排出抑制 廃棄物の分別排出 等
市区町村	製品プラスチックの収集 再製品化 等		

# プラスチックを取り巻く情勢（東京都の取り組み）

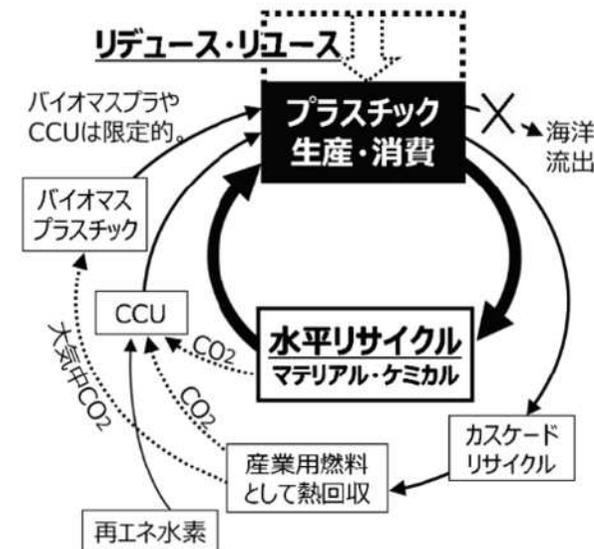
## 1 ゼロエミッション東京戦略の策定（令和元年12月）



## 2 東京都環境基本計画の改定（令和4年9月）

- カーボン・クローズド・サイクルの実現
- 水平リサイクルの拡大
- バイオマスプラスチックの利用
- 先進的な企業と連携したイノベーションの創出
- 環境に配慮した社会の醸成
- **区市町村におけるプラスチック等の再資源化促進**

【「カーボン・クローズド・サイクル」の考え方】



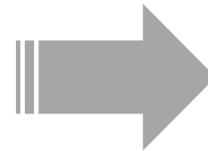
# 江戸川区におけるプラスチック資源循環施策の方針

プラ新法 第一条(目的) 一部抜粋

生活環境の保全及び国民経済の健全な発展に寄与することを目的とする。

プラ新法 制定の背景

海洋プラスチックごみ問題  
気候変動問題(CO<sub>2</sub>の増加)  
諸外国の廃棄物輸入規制の強化



国際的課題を  
解決する必要がある

## 江戸川区の方針

SDGsを推進し、都内初となるカーボンマイナス都市宣言を表明している本区においても、国際的課題の解決や、国や都の取り組みも踏まえ、循環型社会の実現を目指し、さらなるプラスチックの資源循環促進(製品プラスチックの回収・リサイクル)に取り組む。

# 製品プラスチックの主な回収方法

回収方法		説明
集積所回収	一括回収	容器包装プラスチックと一緒の袋に入れて回収
	分別回収	容器包装プラスチックと分別して回収
拠点回収		収集拠点を設け、容器包装プラスチックと分別して回収

# 東京23区における製品プラ回収状況(令和7年度)

	区名	回収状況	回収方法	その他
1	千代田区	○	一括回収	
2	中央区	×		
3	港区	○	一括回収	
4	新宿区	○	一括回収	
5	文京区		一括回収	
6	台東区		一括回収	
7	墨田区	○	一括回収	
8	江東区	○	一括回収	
9	品川区	○	一括回収	
10	目黒区	○	一括回収	
11	大田区	○	一括回収	
12	世田谷区	×		

	区名	回収状況	回収方法	その他
13	渋谷区	○	一括回収	
14	中野区	○	一括回収	
15	杉並区		一括回収	現在、モデル実施中。
16	豊島区	○	一括回収	
17	北区	○	一括回収	
18	荒川区	○	一括回収	
19	板橋区	○	一括回収	
20	練馬区	×		
21	足立区		一括回収	現在、モデル実施中。 令和8年度本格実施予定。
22	葛飾区		分別回収	
23	江戸川区	10月～	拠点回収	

**23区中17区が本格実施**

# 江戸川区での製品プラスチック回収方法について

## 1 回収時期(予定)

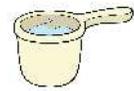
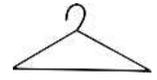
令和7年10月～

## 2 回収方法

23区で初となる**拠点にて常設回収を行う。**

## 3 回収品目

綺麗に排出されやすく、**物から物へリサイクル**しやすい**単一素材**でできているプラスチック製品の回収及び可燃ごみ・粗大ごみの減量を目的として、以下を17品目を回収品目とする。  
なお、回収品目の追加については随時検討する。

ざる	ボウル	バケツ	ちりとり	ごみ箱	風呂いす	手おけ	洗面器	書籍スタンド
								
かご類	トレー	保存容器	ハンガー	書類ケース	衣装ケース	まな板	小物入れ	
								

# 江戸川区での製品プラスチック回収方法について

## 4 回収拠点

区役所・各区民館にて常設回収。

随時、回収拠点の増設を検討する。

受付時間が午前8時30分～午後9時30分までのため  
曜日や時間に縛られることなく回収可能。

江戸川区役所(中央1-4-1)

小松川区民館(平井4-1-1)

葛西区民館(中葛西3-10-1)

小岩区民館(東小岩6-9-14)

東部区民館(東瑞江1-17-1)

鹿骨区民館(鹿骨1-54-2)



## 【参考】衣装ケースの回収実証実験

### 1 実施結果

回収日		回収場所	天候	来場組数	回収個数	回収重量
2月	15日(土)	葛西清掃事務所 駐車場	晴	169組	621個	1,720kg
	22日(土)	中平井コミュニティ会館 駐車場	晴	97組	363個	1,000kg
3月	1日(土)	鹿骨区民館 駐車場	晴	257組	806個	2,410kg
	8日(土)	東部区民館 駐車場	曇時々雨	264組	843個	2,160kg
	15日(土)	小岩健康サポートセンター 駐車場	曇時々雨	178組	640個	1,710kg
	22日(土)	区役所本庁舎 中庭	晴	226組	773個	2,030kg
<b>合計</b>				<b>1,191組</b>	<b>4,046個</b>	<b>11,030kg</b>

# 【参考】衣装ケースの回収実証実験

## 2 記録写真



鹿骨区民館



区役所本庁舎

---

# リチウムイオン電池について

# リチウムイオン電池等の二次電池とは

## < 二次電池とは >

充電して繰り返し使用できる電池  
小型・軽量でエネルギー効率が高い  
小型なワイヤレスイヤホンから大型なコードレス  
掃除機まで様々な製品に普及



モバイルバッテリー



加熱式たばこ・電子たばこ



小型扇風機



ワイヤレスイヤホン



デジカメや  
ビデオカメラのバッテリー



コードレス掃除機



ヘッドライト



空調服・電熱服



電動工具

※リチウムイオン電池は、同じ重量のアルカリ乾電池  
に比べて、約6倍のエネルギーがある

# 二次電池の発火のメカニズム

## < 発火メカニズム >

破砕等の衝撃で、電池内部の + 極と - 極がショート  
ショートにより、電池内部で徐々に温度上昇・発熱  
内部燃焼を経て、発煙・発火

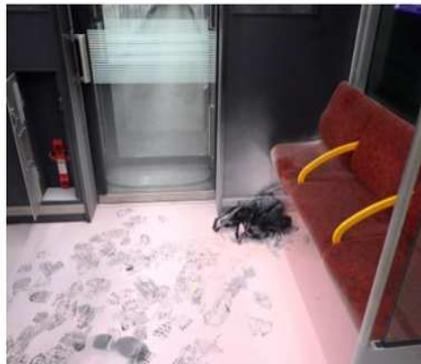
## < 二次電池による火災の特徴 >

反応速度によって、いつどこで発火するかわからない  
完全に放電されていれば、発火のリスクは低い

運行中の電車内でモバイルバッテリーから出火した火災

東京消防庁HPから引用

運行中の電車内において、乗客が鞆の中に入れていたモバイルバッテリーが何らかの要因で短絡し出火したものです。火災に気が付いた他の乗客が初期消火と通報を実施しています。



電車内の焼損状況

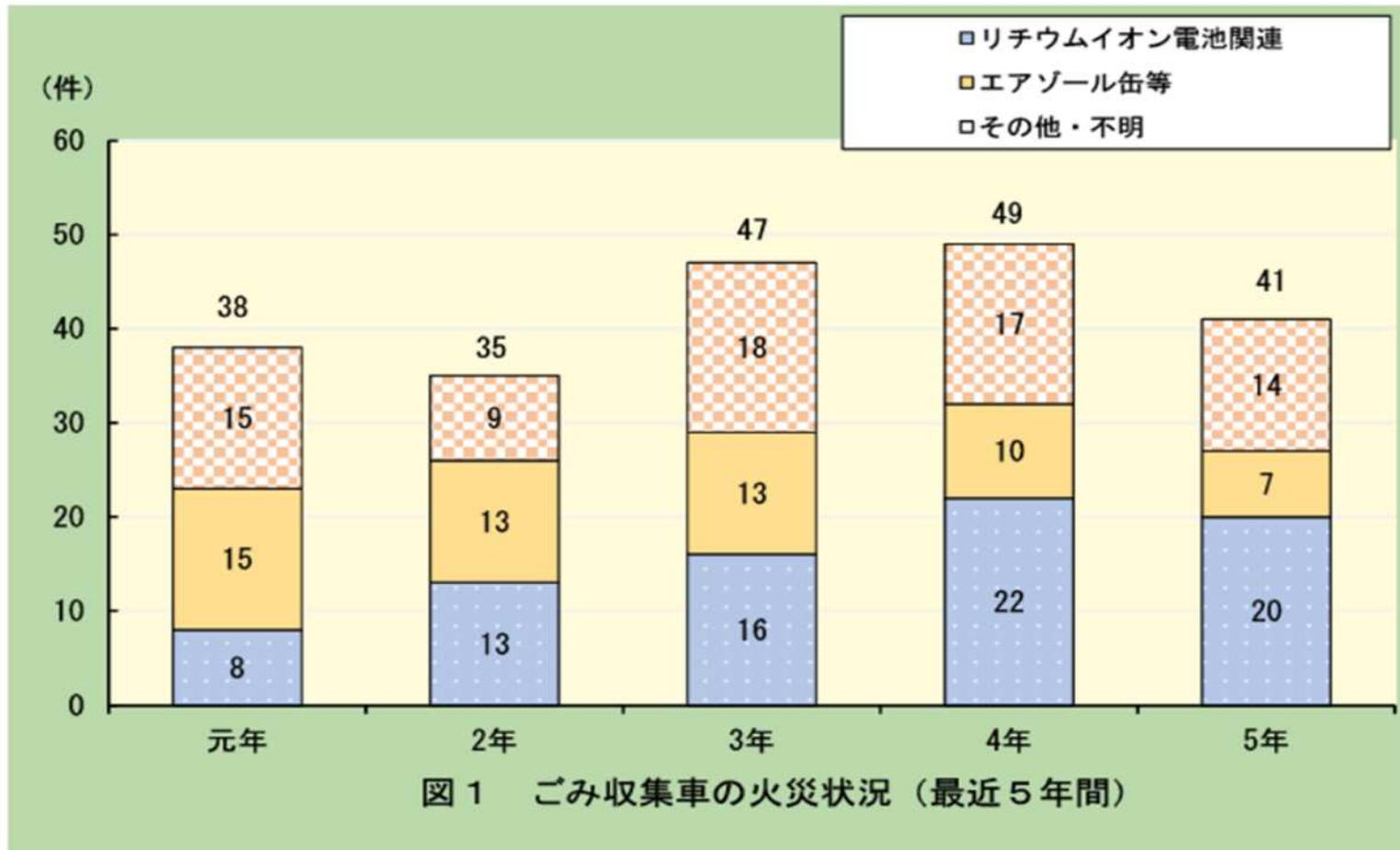


モバイルバッテリーの焼損状況

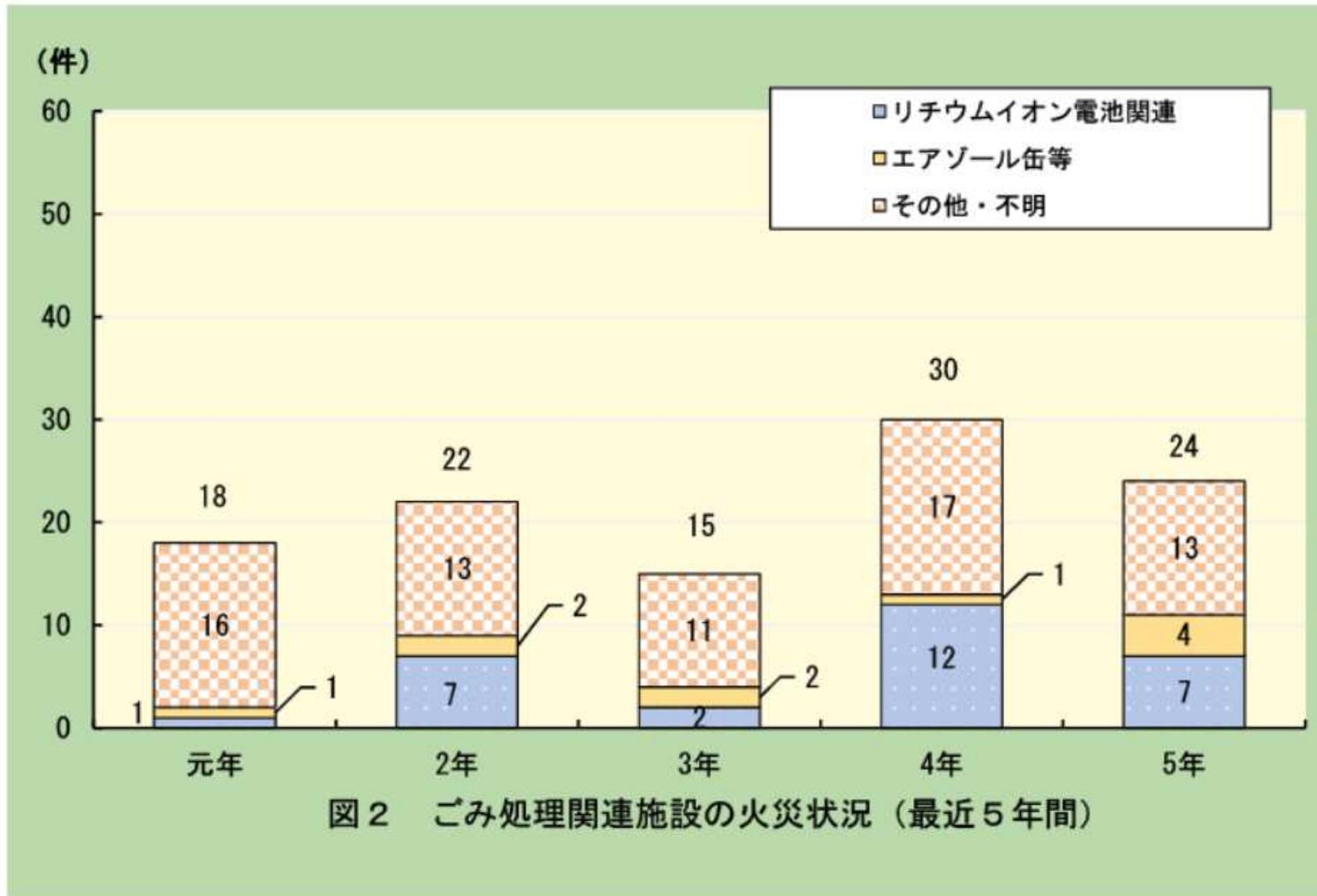
# リチウムイオン電池関連の事故

## リチウムイオン電池関連の火災状況

東京消防庁提供資料



# リチウムイオン電池関連の事故



# リチウムイオン電池関連の事故

## 粗大ごみ破碎処理施設の事故（令和5年11月18日発生）



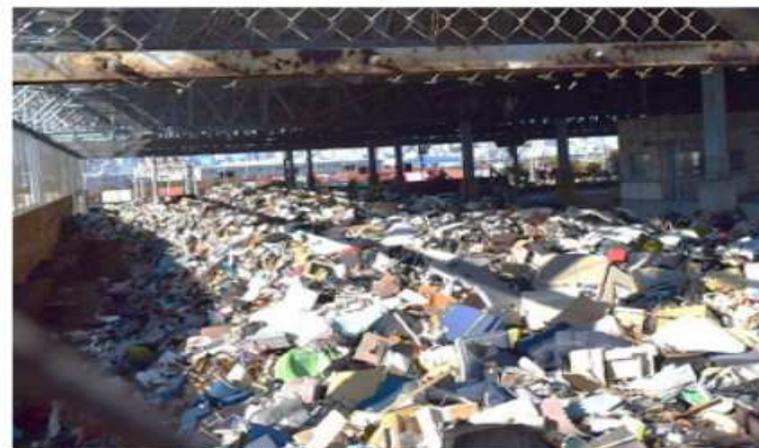
粗大ごみ破碎処理施設での火災状況



コンベヤの焼損状況



磁選室の内部



粗大ごみで溢れかえった不燃ごみ受入ヤード

# 江戸川区の現状

## 1 リチウムイオン電池のリサイクルについて

【資源有効利用促進法】

製造・使用するメーカーや輸入業者に対し、回収・リサイクルを義務付け

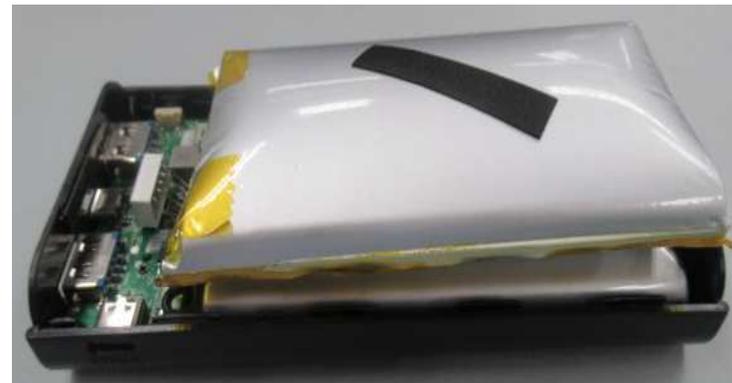
## 2 回収方法

【JBR C協力店での店頭回収】

区内11拠点(家電量販店、ホームセンター、まちの電気屋さん)で回収

### 回収を断られた蓄電池

加盟していないメーカーや輸入品  
膨張した二次電池(右写真参照)



【清掃事務所又は清掃課での拠点回収】

ビニールテープなどで通電部分を絶縁処理したうえで持込んでいただく

# 江戸川区の現状

## 3 火災事故防止の取組み

### 【収集体制】

燃やさないごみの収集に「小型排出車」を使用し**プレス**をせず**に**火災を未然防止



### 【中継所でのピックアップ】

燃やさないごみの中継所で**作業員による選別作業**



# 今後の対応について

## 令和7年4月15日付<環境省通知>

「市町村におけるリチウム蓄電池等の適正処理に関する方針と対策について」

分別方法	JBRCなどの製造事業者等による自主回収だけでなく、自主回収を行っていないものの、膨張変形したリチウム蓄電池等の排出方法を明示すること。
回収方法	他のごみ区分への混入を防ぐため、住民にとって利便性が高い分別収集(ステーション・戸別)を基本として分別収集を行うこと。
周知・広報	使用されている製品の品目を具体的に示す等して、リチウム蓄電池等の不適切なごみ区分への混入を防ぐための周知を行うこと。

**本区においても、環境省の方針と対策の具現化を検討していく**

# 危険！リチウムイオン電池

燃やすごみ・資源で

## 捨てちゃダメ！



- リチウムイオン電池の取り外しができない小型家電等が不要となった場合は**燃やさないごみ**又は**粗大ごみ**で出してください。
- リチウムイオン電池等の二次電池単体やモバイルバッテリーが不要となった場合は、**一般財団法人J B R C (03-6403-5673)** や販売店に相談してください。
- 一般財団法人J B R Cにや販売店に引き取りを断られた場合は、下記の間合せ先までご相談ください。

リチウムイオン電池は、過度な力が加わると発熱・発火し危険です！



問合せ先

江戸川区環境部清掃課  
TEL. 03-5662-4387

詳しくは江戸川区HPA

